

会員アンケート報告書
～概要版～

平成30年12月

南三陸商工会

【会員アンケート調査】

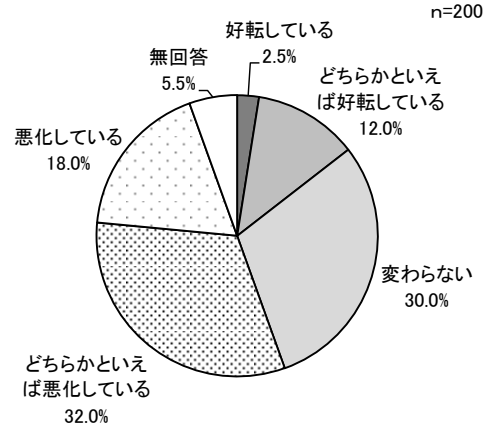
I. 調査概要

○本調査は、南三陸商工会の会員の経営状況や東日本大震災の復興状況、商工会が行う支援事業の利用状況について把握し、今後の会員支援に資することを目的に実施した。調査対象は、南三陸商工会会員事業所で、有効回収 200 サンプルである。調査方法は記名式の質問用紙を配布・回収する方法。

1. 業況、景況について

○ 業況、景況は、「好転している」(2.5%)と「どちらかといえば好転している」(12.0%)を合わせた『好転している』が14.5%と1割台にとどまっている。一方、「どちらかといえば悪化している」(32.0%)と「悪化している」(18.0%)を合わせた『悪化している』が50.0%と半数を占めている。したがって、DI(『好転している』(14.5%) - 『悪化している』(50.0%))は▲35.5となっている。

1年前と業況、景況の比較

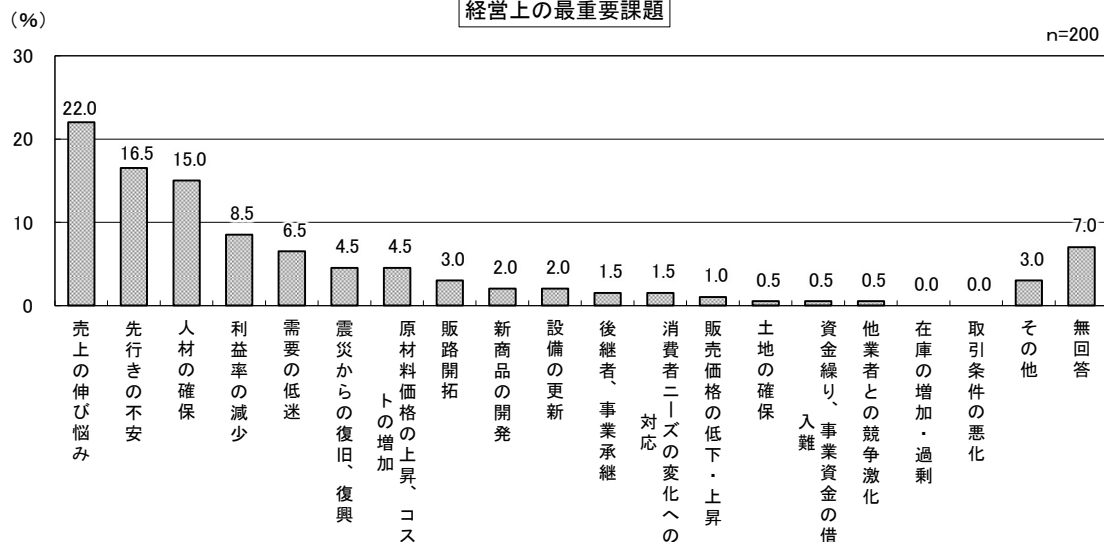


『好転している』	『悪化している』	DI
14.5%	50.0%	▲35.5

2. 経営上の課題（単数回答）

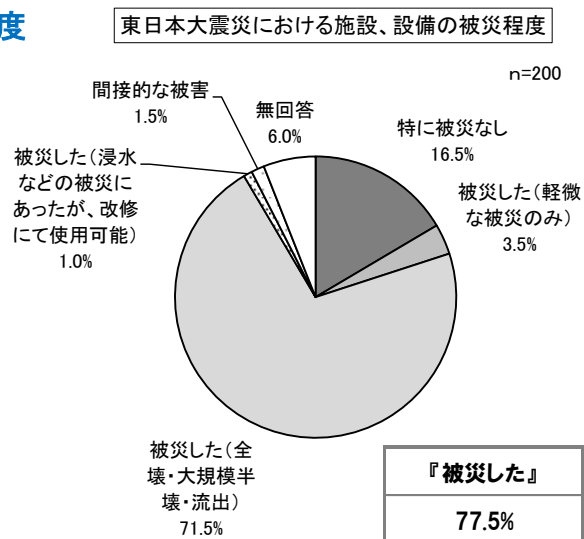
○ 経営上の最重要課題は、第1位が「売上の伸び悩み」で22.0%と4割以上を占めている。次に、第2位が「先行きの不安」(16.5%)、第3位が「人材の確保」(15.0%)でともに1割台を占めている。

経営上の最重要課題



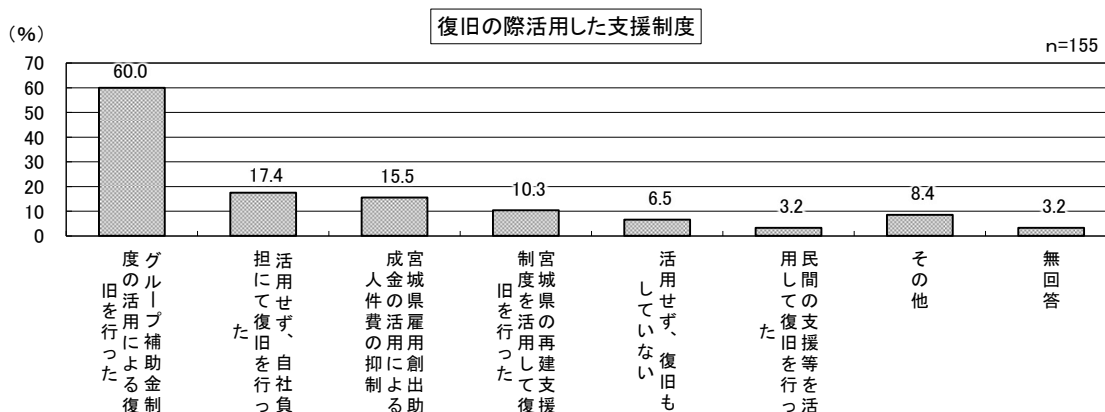
3. 東日本大震災における施設、設備の被災程度

- 東日本大震災における施設、設備の被災程度は、「被災した（軽微な被災のみ）」（3.5%）、「被災した（全壊・大規模半壊・流出）」（71.5%）、「被災した（浸水などの被災にあったが、改修にて使用可能）」（1.0%）、「間接的な被害」（1.5%）を合わせた『被災した』が77.5%と8割近くを占めている。



4. 復旧の際活用した支援制度

- 問3で『被災した』と答えた155事業所に復旧の際活用した支援制度をたずねたところ、「グループ補助金制度の活用による復旧を行った」が60.0%と6割の事業所が、この理由を挙げ最も多くなっている。



5. 事業承継に向けた準備状況

- 事業概要で、後継者候補が「有」と回答した77事業所に事業承継に向けた準備状況をたずねたところ、「はい」が55.8%と半数以上を占めている。「1年以内に取りかかる予定」が2.6%、「未定」が27.3%となっている。

